








整形外科 大腿骨頸部骨折の手術を受けられる様

様

| イベント | 入院日 | 手術当日（手術前） | 手術当日（手術後） | 手術後1～3日目 | 手術後4～9日目 | 手術10日目 | 手術11～15日目 | 退院日 | |
|--------------|---|--|--|---|--|--|---|--|---|
| 月日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日～ | 月 日～ | 月 日 | 月 日～ | 月 日 | |
| 到達目標 | 手術に向けて不安が軽減できる | | | 手術後に起こる苦痛を最小限になる | | 自立度に応じた日常生活を行うことができる | | 退院後の生活がイメージできる | |
| 治療薬剤 | <ul style="list-style-type: none"> 緊急入院の場合、持参した薬は、看護師に預けてください。・預けたお薬は、薬剤師が確認します。  | <ul style="list-style-type: none"> 確認したお薬は、病棟で管理します。 ・足に弾性ストッキングの説明とサイズを測ります。洗い替えの購入が必要です（サイズによっては包帯のこともあります）  | <ul style="list-style-type: none"> ・医師から指示されたお薬のみ、内服します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・手術した足は、腫の褥瘡予防のため枕を使用します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・主治医または回診で、傷のガーゼ交換を行います。 ・術後から、骨を強くするお薬の内服をします。 ・弾性ストッキングは毎日交換します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・傷の状態を確認し、汚れている場合は交換します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・医師が足の傷を確認し、絆創膏を除去します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・歩行できるようになったら、弾性ストッキングは終了です。  | [薬剤師より] 内服の説明があります。 |
| 処置検査 | <ul style="list-style-type: none"> ・爪は短く切ってください □現在内服中のお薬 □お薬手帳 □ボールペン（必要書類サインのため） □入院生活に必要な物（アメニティの申し込みは入院後になります） □入院案内 □書類 | <ul style="list-style-type: none"> ・家族の方も一緒に来院して下さい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・手術着に着替えた後、点滴をします。  | <ul style="list-style-type: none"> ・手術後に採血とレントゲンがあります。 ・心電図を装着します。 ・定期的に、体温、脈拍、血圧などを測定します | <ul style="list-style-type: none"> ・手術後1日目、抗生剤の点滴をして終了です。 ・手術後1、3日目に採血があります。  | <ul style="list-style-type: none"> 手術後7日目に採血・レントゲン・CTがあります。 | <ul style="list-style-type: none"> 手術後10日目に採血があります。 | <ul style="list-style-type: none"> 手術後14日目に採血とレントゲンがあります。 | <ul style="list-style-type: none"> ・退院は午前11時までになります。 ・転院の場合、指定された時間に転院します。 ・クランクが請求書を届けます。 |
| リハビリ | | | <ul style="list-style-type: none"> ・麻酔が覚めてきたら足首を動かしてください。  | <ul style="list-style-type: none"> [理学療法士より] ・手術後1日目からベッド上でのトレーニングや座位練習、車椅子への移乗を開始します。 ・手術後2日目からリハビリ室にて平 | <ul style="list-style-type: none"> ・痛みに応じて歩行器や杖での歩行練習を開始します。 ・自主トレーニングの方法を指導します。 ・階段など自宅環境に応じた動作を練習します。 | | | | |
| 活動安静度 | | <ul style="list-style-type: none"> ・骨折部の安静のため、入院後はベッド上安静です。痛みに応じて頭を起こすことができます。 ・横を向く時は、ナースコールで看護師を呼んでください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・手術後は翌日の朝までベッド上安静です。  | <ul style="list-style-type: none"> ・自身で動く許可があるまでは、看護師の介助が必要です。 | <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリの進行具合で、補助具を使用し、歩行訓練をします。 | | | |  |
| 食事 |  | <ul style="list-style-type: none"> ・食事・水分制限があります。医師の指示に従ってください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・手術後の水分は医師の指示により看護師が説明します。それまではお待ちください。  | <ul style="list-style-type: none"> ・手術翌日から食事を開始します。 ・栄養士が訪問し、病状や嗜好に適した食事を提供します。 ・食事の選択ができます（医師の指示や食種によっては選択できないものもあります） | <ul style="list-style-type: none"> ・食事の制限はありません。（生活習慣病のある場合は、医師の指示に従ってください）  | | | | |
| 清潔 | | <ul style="list-style-type: none"> ・午前中に体を拭き、手術衣に着替えます。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・午前中に体拭きをします。 ・週1回洗髪・足浴をします。  | <ul style="list-style-type: none"> ・医師の許可によりシャワー浴が可能となります。 | | | | |
| 排泄 | | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急入院の場合、救急外来で尿管を留置することがあります。 | <ul style="list-style-type: none"> 手術室で尿管を入れます。 | <ul style="list-style-type: none"> 手術翌日に尿管を抜き、車椅子に移乗できれば、痛みに応じてトイレで排泄できます。 | <ul style="list-style-type: none"> リハビリの状況により、車椅子や歩行器でトイレにいけます | | | | |
| 看護 | 手術に向けて不安が軽減できるよう支援していきます。 | | | 手術後に起こる苦痛を最小限にできるよう支援します。 | | 日常生活の自立度に応じて日常生活の援助をしていきます。 | | 退院後の生活に向けて支援していきます。 | |
| 患者さん・ご家族への説明 | <ul style="list-style-type: none"> ご不明な点はお電話ください。 ・病院代表 0568-76-4131 ・患者支援センター  | <ul style="list-style-type: none"> 【医師から】 ★入院の説明と治療の説明があります。（外来でお済の方はありません） 【看護師から】 ★説明後、「入院診療計画書」、「同意書」にサインをお願いします。（外来で説明がお済の方は、サイン記入後、提出してください） ★安全確認のため、患者識別のリストバンドをつけていただきます。 ★病棟、入院中の生活、治療の流れを説明します | <ul style="list-style-type: none"> 付き添いの方は、手術終了まで病室またはディルームでお待ちください。 【医師から】 ★手術直後の説明は主治医よりあります。 ★手術後、状態が安定していれば、付き添いの方は帰宅していただけます。 | <ul style="list-style-type: none"> 【看護師から】 転院希望、介護保険利用希望などのある場合は主治医、ソーシャルワーカーに相談してください。  | <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ転院の場合、ソーシャルワーカーから連絡があります。ソーシャルワーカーと相談しつつ転院先を決定していきます。 | <ul style="list-style-type: none"> 【医師から】 ・退院又は転院に向けて、医師から説明があります。  | <ul style="list-style-type: none"> 【看護師から】 ★「退院療養計画書」を基に退院後の生活、次回来院の説明があります。 ★転院の場合、転院先へ持参する必要書類をお渡しします。 ★病室内点検の後退院となります。 | | |

患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。経過についてはその都度、個別に説明いたします。

患者パス作成：2022年7月 小牧市民病院